

【11月の行事予定】

日	曜	行事	日	曜	行事
1	水		16	木	2学期期末試験
2	木		17	金	2学期期末試験
3	金	創立70周年祝賀会	18	土	松中タウンミーティング
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月		21	火	政見放送
7	火	個別支援学級合同宿泊学習	22	水	避難訓練
8	水		23	木	勤労感謝の日
9	木	3年生進路説明会	24	金	一斉下校14:35
10	金	一斉下校14:35 MTMリーダー研修	25	土	
11	土		26	日	
12	日	地域防災訓練	27	月	一斉下校14:35
13	月	一斉下校15:25	28	火	
14	火	一斉下校14:35 放課後学習会	29	水	
15	水	2学期期末試験	30	木	立会演説会、生徒会役員選挙





幸運 = (行動 × 多様 + 察知) × 回復

校長 間邊 浩二

ちょっと変わった数式がありますが、いったい何のことなのでしょう？この数式はサイエンスライターの鈴木祐さんが書いた「運の方程式」という本で紹介されている数式なのです。著者の鈴木祐さんは10万本の科学論文を読破し、600人を超える海外の学者や専門医へのインタビューを重ね、多数の執筆を手がけている方です。この本の他にも多数の著作がありどれもベストセラーになっています。



この本の冒頭に書かれていることは、人生は「能力」より「運」で決まるということでした。すると、能力より運で決まってしまうのならば、「運なんてどのように自分に向いてくるかわからないのだったら頑張る意味がないじゃないか」と、あきらめたくくなりますね。しかし、この本ではその「運」は科学的に引き寄せることができるということが書かれているのです。

その「運」を科学的に引き寄せる方法というのが、 $幸運 = (行動 \times 多様 + 察知) \times 回復$ という方程式になるのだそうです。

この方程式には4つの大切な要素があります。

1つ目は、「行動」を多く起こす人ほど運をつかみやすいということです。何事もまずは自分で行動してみる。情報を集め好奇心をもって行動する機会を増やすことが大切なのです。

2つ目は、「多様」です。行動を増やすといっても、一つの方法をずっと繰り返すのではなく、様々な方法を試してみることです。つまり多様(いろいろ)な方法を試してみることを求められているのです。

3つ目は「察知」です。察知とは様々な行動を繰り返していく中で、身の回りの小さな変化に気付くこと。偶然をただの偶然で終わらせないことを意味しています。気になったことがあったら「なぜ？」と自問自答してみることです。

そして4つ目が「回復」です。これは言うまでもなく失敗から立ち直る力のことです。行動を増やしていけば失敗も当然増えてしまいます。しかし、失敗を一つの新しく得られたデータと捉えることで、その失敗が次に生かせるデータになり、その経験は大切な財産になっていくというのです。

これら4つの要素を関連付けたのが「運の方程式」となるのです。

こんな例があります。1945年、軍需産業の技術者だったパーシー・スペンサーは軍用レーダーの開発を任され、何度も実験を繰り返していました。これが行動×多様です。ある実験をしていたら彼のポケットに入れたままだったチョコレートが溶けてしまいました。この時、彼は「はっ！」と気付いたのです。マイクロ波で熱を生む装置を思いつき、その2年後には、現代の各家庭に普及している電子レンジの原型ができました。チョコレートが溶けてしまった偶然から、熱を生むことを察知して気付いたこと。これがなければ電子レンジは世に出なかったはず。「回復」についてはあえてコメントするまでもないと思います。

このように、自ら行動することを増やし様々な工夫を重ねていながら、小さな変化にも目を凝らしていく

と、当然失敗も増えるけれど、そこから立ち上がる回復力をもっていけば、自分の力で運を科学的に引き寄せることができるという、とても興味深いことが書いてありました。内容もまだまだ深いことが書かれているのでもっと読み込んでみようと思っています。



1年生の様子

1学年主任 首藤郁子

入学してから半年がたちました。体育祭から始まり、校外学習、職業講話、定期テストも 2 回経験して、あどけない新入生の顔が「松本中1年生」の顔になってきました。

緑学年の素晴らしいところは、集団として助け合えるところだと思います。授業やさまざまな場面で、お互いに教え合い、助け合い、声をかけ合う様子が見られます。周りを見て自分から動けること、さりげなく手を差し伸べることができること、困ったら素直に助けを求めることができること、そうやってみんなで伸びていこうとする姿を見てうれしく思っています。

緑学年の目標は「メリハリ ～みんなのために自分のために～」です。学年の評議委員会では、今の学年の課題を「時間を守ること」だと考えて、目標を学年のみんなに意識してもらうための掲示物の作成や、時間に間に合うように次の授業の準備をするための呼びかけを行っています。

先日の合唱コンクールではそれぞれのクラスの個性が発揮された素晴らしい演奏を聴かせてくれました。本番までの練習の中で、様々に工夫をし、話し合っってクラスの合唱を作り上げてきました。互いの健闘をたたえ合い、さらに素晴らしい学年を目指していきましょう。

2 学年の様子

2学年主任 先崎 究

長い休みが終わったと思えないくらい、今まで同じように穏やかな学校生活が再開できたと思います。9月に入るとすぐに職場体験で各クラスごと分かれて鶴見にある「かなテクカcdレッジ」に赴き、その時々でプログラムは違ったのですが、全 12 コースに分かれて様々な職業体験をすることができました。午前の部で活動するクラスは、横浜駅での通勤ラッシュと重なる時間帯で少し心配でしたが、みんなマナーよく移動することができました。通勤体験のオマケ付きまでは考えていなかったのですが、とても良い体験をすることができたのではないのでしょうか。

同時に合唱コンクールに向けた練習を行いました。クラスで一丸となって素晴らしい発表ができるように努力している姿を目にし、日々の成長を感じることができました。関内ホールでも素晴らしい発表することができたと思います。

今後は、進路に向けた取り組みと、来年度の修学旅行の準備をしていきますので今後とも応援よろしくお願いたします。



檸檬のいれもん

3 学年主任 石井 亮

先日、合唱コンクールが終わりました。最初は声量やハーモニーに不安があったクラスも真摯に合唱に向き合い、練習を重ねるごとにどんどん上手になっていき、歌唱力と共にぐんぐんと団結力と信頼感を上げていきました。最終的にはどのクラスも最高の合唱を関内ホールに響かせ、素晴らしい合唱コンクールとなりました。ついに中学校生活の大きな行事も終わり、これからは進路に向けてのそれぞれの取組になっていきます。

進路は一人で向き合うものではありません。合唱練習で培った団結力を受験勉強に生かし、励まし合い、支え合い、信じ合いながら卒業までを過ごしてほしいと思います。

休み時間などを見ていると、騒いだり、走り回ったり、ふざけ合ったりと、まだまだ幼さの残る元気いっぱいの黄色学年～檸檬軍団～ですが、メリハリをつけながら、卒業までの残り 4 か月、檸檬の花言葉「心からの思慕」のように、相手を大切に思い、檸檬の木の花言葉「誠実な愛・思慮分別」のように、誠実さをもって、物事を考えて行動することができるようにし、そして檸檬の果実の花言葉のように「情熱・熱意・陽気な考え」をもって何事にも取り組んでいけるようにチーム「檸檬のいれもん」みんなでサポートしていきたいと思います。

